

おれんじの屋根

施設長より

「ニヤリホット」という言葉があるそうです

ごく最近知った言葉に「ニヤリホット」というのがあります。ネットで見つけた他の法人の研修計画の資料にヒヤリハットと並んでいました。検索すると、介護などの現場で、高齢者の方とのふとした会話ややり取りの中で、思わず「ニヤリ」としたできごとや心が「ホッと」温まった瞬間を振り返ることで、高齢者の方のよいところを目を向けるとともに、場の雰囲気をよくする取り組みだそうです。まだ「ウィキペディア」にないので、新しい言葉だろうと思われます。

人のよいところを見つけて褒める。「ニヤリホット」は、場の雰囲気が和む効果があるので、「にやりほっと効果」とも言うそうです。「ヒヤリハット」があるのだから、こんな言葉もあっていかと誰かが思われたのでしょうか。すごくいい言葉だと思います。

ある法人では、利用者さんたちとの普段の関わりの中で見聞きした「ニヤリホット」をみんなで共有するために事例を集めて報告集を作っていました。この発想もとてもすばらしいし、しょうぶの里でも、ぜひやってみたいと思いました。

例えば、障がい福祉や特別支援教育（障がいのある子どもの教育）の分野でも、携わっている人たちの多くが、障がいのある子どもや大人のひととの出会いや関わりの中で、心と心「ニヤリ」や「ホッと」を経験して、その心地よさや楽しさを感じ取りor忘れられずに、この人たちと関わり寄り添う仕事に就こう、続けようと思ったのではないかなと。

私が、特別支援教育に入ったのも、就職も決まった大学4年のとき、大学祭に来て暗くなって帰れなくなった隣の附属養護学校のダウン症の生徒との、親さんの迎えを待つ夜の公園での3時間がとても楽しかったことがきっかけでした。

こういった障がいのある人に関する「ニヤリホット」には、関わった人々をこの世界に引き込む強い磁力（魅力）があるような気がしています。

また、このような「ニヤリホット」こそが、障がい福祉や特別支援教育ならではの醍醐味（だいごみ）かなと思います。例えば、知的に障がいのある子どもたちが学ぶ特別支援学校の運動会では、ダントツのビリで走っているのに、保護者やご家族、関係者などの応援に手を振りながら楽しそうに走る小学部の子が大声援の中をゴールというのも、毎度見られるほほえましい光景です。ビリになっている子どもの親さんやご家族が一番笑っていたりして、特別支援学校ならではの光景に、思わず会場全体に笑顔があふれて心が和んで、ほほえましさをみんなが共有するひとときでもあります。もちろん、しょうぶの里でも、さまざまな「ニヤリホット」のエピソードがあります。

障がい福祉の世界も特別支援教育も、決して楽な仕事ではないし、大変さはもちろんたくさんあります。ありますが、「ニヤリホット」は、こういう世界に携わっている人たちに与えられるごほうびのようなものかも知れないと思ったところです。

書き遊ぶ

「6月の思い出」

ゆうゆう会会長の瀬上です。いつも皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。

その日、やっと雨が止んだので、まだ幼かった私は喜んで下駄をはいて門の外に出ました。当時はまだ下水道はなく側溝に生活用水が流れていました。そこをチラッと見たら、えっ？ 赤いものが…金魚が流れていました。どうして？ すると街中にサイレンが鳴り響き母が早くおうちに入りなさいと言いました。まだ幼かったのが何が起きたかわかりません。そのうち近所の方が我が家に集まりました。当時は平屋が多く2階建ての家はそんなにありませんでした。

私は2階から階段を見ていましたが、見る見るうちに泥水が階段の中ほどまで浸水しました。熊本市が水害にあった6月26日のことでした。

その後、私たち兄弟は母の実家に預けられ、帰ってきたときは元通りになっていましたが、道の反対側に泥が積まれてちょっとした丘になっていました。洪水に地震、そしてコロナウイルスと災害に遭遇しましたが楽しかった思い出だけ残したいものです。



キッチンカーが 来てくれました！

5月11日(水)、キッチンカー《4 season》さんにご協力いただき、しょうぶの里で訪問販売をしていただきました。なかなか外出もままならないコロナ禍の今、利用者さんたちも大喜びで楽しいランチになりました。



お世話！ くもと 花とみどりの 博覧会

しょうぶの里では熊本農業高校さんから“アゲハ”“アゲハ”“アゲハ”“アゲハ”の苗を購入し、目指せ花博！とばかりに花植えの作業を頑張りました(*^^)v



お知らせ

“しょうぶの里まつり”について

毎年恒例で行ってました“しょうぶの里まつり”は今年もコロナ感染に配慮し中止となりました。早く“しょうぶの里まつり”が再開し、皆様に再会できる日を楽しみに元気に過ごしたいと思います。

お世話になりました！

昨年の7月から厚地養士の育児休業に伴い、ピンチヒッターとしてしょうぶの里の初代の栄養士だった齋藤憲子(旧姓沼田)さんに約一年間お世話になりました。

急なお願いでしたが快くお受けいただき、しょうぶの里のことはよくご存じですので、利用者さんも職員も安心して過ごせました。

またぜひ遊びに来てくださいね！
待っています(*^^)
ありがとうございました。

給食室より

6月 イベントメニュー

- 6月 3日 リクエストメニュー(昼食)
- 6月 8日 誕生会
- 6月 10日 しょうぶの里 夏まつり(夕食)
- 6月 29日 リクエストメニュー(昼食)



夏バテ防止の一番バツ 「スイカ」

初夏といえばスイカ(西瓜)、熊本は生産量日本一です。熱帯アフリカ原産で、4千年前のエジプトでは栽培されていました。

日本への渡来は14世紀ですが、明治時代に多くの品種が導入され一般にも広く普及します。

またスイカは90%以上が水分で、利尿作用(腎臓、高血圧に嬉しい)に優れていますが、これはカリウムなどのミネラルが多く含まれているからです。スイカの糖分は果糖なので、冷やすと甘味が増します。中の白い皮も美味しいよ😊



栄養士 齋藤憲子

医務室より

食中毒について

第二弾

今月号は黄色ブドウ球菌とカンピロバクター菌についてです。

◎黄色ブドウ球菌

黄色ブドウ球菌は環境中に広く生息する菌で、食品の取り扱いが不十分だと大規模な食中毒の発生につながります。潜伏期間は非常に短く、原因となる食物を摂取してから3時間ほどで吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などの症状が現れ1〜2日の経過で軽快します。

予防としては食品の管理を徹底することが重要です。調理終了からの時間が長いほど毒素が産生されるリスクが高まるため、早めに食品を摂取することも大切です。

◎カンピロバクター菌

カンピロバクターは、鶏や牛の腸内に広く生息しています。カンピロバクターを保有する動物の肉や排泄物、牛乳中などにも細菌は混入することがあり、これらから感染が周囲に拡大します。

- ・加熱が不十分な肉を食べた(特に鶏肉)
- ・低温殺菌をされていない牛乳を飲んだ
(日本でも出回っているものは基本的に殺菌されています)
- ・汚染された井戸水を飲んだ
(汚染された肉を扱った包丁やまな板で他の食材も扱った)

カンピロバクターは、およそ5〜7日の潜伏期間の後に症状が出現し、吐き気や嘔吐、下痢や腹痛などが現れ、腹痛症状はとても強いことが多く、虫垂炎と間違えられることもあります。また、血便が出ることもあります。予防法としては

- (1)食肉を十分に加熱調理すること。
- (2)食肉は他の食品と調理器具や容器を分けて処理や保存を行う。
- (3)食肉を取り扱った後は十分に手を洗ってから他の食品を取り扱う。
- (4)食肉に触れた調理器具等は使用後洗浄・殺菌を行うこと。

以上のことが重要です。

《6月の行事予定》

- ☆ 6日(月) 職員会議、給食委員会
- ☆ 8日(水) 誕生会
- ☆ 9日(木) 訪問歯科
- ☆ 10日(金) しょうぶの里 夏まつり
- ☆ 13日(月) 訪問散髪
- ☆ 14日(火) テイクアウトランチ
- ☆ 16日(木) 訪問歯科
高野病院訪問診療
- ☆ 20日(月) 職員研修会
- ☆ 21日(火) テイクアウトランチ
- ☆ 23日(木) 訪問歯科
- ☆ 28日(火) テイクアウトランチ
- ☆ 30日(木) 訪問歯科

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

5月の大型連休も部屋の片付けと庭の草取りで終わりました。

⑤ 20日分送出した気持ちはあるのですが、いろいろ考えるとあと一歩が踏み出せず、片付けと草取りになったわけです...

おかげでずいぶん断捨離できた気がします。熊本地震の時、家を建て直すことになったので思いっきり断捨離し、物を増やさないで固く固く誓ったはずなのに、何ででしょうか、物が増えるんです...いかんいかん! Simple is Best!

～～第61号～～

令和4年5月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

